



WIRE AND CABLE

IEC 60332-1とIEC 60332-2 (*IEC/TS 60695-11-21)

機器内配線材 (AWM) の燃焼試験の追加とその認証サービスのご紹介

2019年、IEC/EN 60950-1 (IT機器) と IEC/EN 60065 (AV および類似の電子機器) の規格に代わって、IEC/EN 62368-1 (AV/IT/通信機器) が採用されます。その時点で、IEC 60332-1 (20 AWG以上の導体を有する機器内配線材 - AWM) と IEC 60332-2 (20 AWG未満の機器内配線材 - AWM) の燃焼定格への内部/外部配線の適合は、IEC/EN 62368-1規格内の要求事項になります。

IEC 60332-1とIEC 60332-2の燃焼定格は、機器内配線材の規格であるUL 758最新版の45項と46項に既に組み込まれています。よって、現時点でAWMの製造者はIEC 60332の燃焼性に関する要求事項への適合判定を申請していただくことができます。適合結果として試験を終了すると、UL プロシージャ (Procedure) のFacing PageにIEC燃焼定格を記載いたします。

IEC 60332-1とIEC 60332-2の燃焼試験が追加されることは、ハイテク製品の製造者にとっては、機器内配線材に関してIEC規格とUL規格の両基準を満たしたUL認証部品 (レコグナイズド・コンポーネント) の調達が可能になるということです。また、顧客ベースの世界的拡大を希望する機器内配線材の製造者は、新規プロジェクトを申請し、自社のUL AMWファイルに、IEC 60332-1とIEC 60332-2の燃焼定格を追加することができます。これにより、IEC/EN 62368-1の最終製品の製造者は、IEC/EN規格とUL規格の両方に適合した貴社のAWM製品を簡単に見つけ出すことができるようになるので、製品の販路を広く世界へと拡大していただけます。

Copartner Tech Corporation社は、本試験を受け、適合が認められた最初のお客様です。これによりIEC 60332-1とIEC 60332-2の燃焼定格を自社AWM製品上に表示することができるようになりました。ULオンライン認証製品ディレクトリー (www.ul.com/database) 並びに同社のウェブサイト (<http://www.copartner.com.tw>) でその詳細をご覧ください。申請を承り評価を実施させていただきますと同様の登録がされる形になります。

本サービスご利用のメリット

- IEC/EN、ULの両規格への適合を果たすことで世界各国/地域の認証を得る道が開かれます。
- 競争が激しい市場で明確な差別化を図ることができます。
- ULのワンストップサービスのご利用により、様々な国/地域の試験・認証をまとめて取得していただけます。
- サプライチェーン全体でコンプライアンスの確保、負担やリスクの削減を実現します。
- 信用あるULの燃焼試験を受けることによって自社の価値を高めていただけます。
- 試験レポートを迅速に入手できます。

(*内部/外部配線のいずれも、IEC/TS 60695-11-21に記載されている試験方法が、IEC 60332-1-2、IEC 60332-1-3、IEC 60332-2-2の試験方法に代わって使用される場合があります。)

問い合わせ先

株式会社UL Japan カスタマーサービス E-mail: customerservice.jp@jp.ul.com

本社 T: 0596-24-6735 東京本社 T: 03-5293-6200 F: 03-5293-6201

ul.com/jp